

第4回盛岡地区新設高等学校統合検討委員会

日時 令和5年2月8日(水) 13:30～
会場 岩手県立不来方高等学校 第1会議室

次 第

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 報告
 - (1) 盛岡地区新設高等学校校名(案)について
 - (2) 統合課題検討小委員会
 - (3) 教育内容検討小委員会
- 4 協議
 - (1) 学系名称(案)について
 - (2) スクール・ポリシー(案)について
 - (3) 部活動について
 - (4) 学校制服の作成について
 - (5) 校歌の決め方について
 - (6) 校章の決め方について
 - (7) その他
- 5 その他
- 6 閉会

盛岡地区新設高等学校統合検討委員会 委員名簿

職名	氏名	所属・職名等	備考
委員長	清川 義彦	岩手県立不来方高等学校長	
副委員長	阿部 圭次	岩手県立盛岡南高等学校長	
委員	多田 英史	盛岡市教育委員会教育長	
委員	菊池 広親	矢巾町教育委員会教育長	
委員	石川 健	盛岡市立乙部中学校長	
委員	伊藤 茂美	矢巾町立矢巾北中学校長	
委員	工藤 昭敏	盛岡市立巻堀中学校 PTA 会長	
委員	女鹿 隆徳	矢巾町立矢巾中学校 PTA 副会長	
委員	菊地 伸一	岩手県立盛岡南高等学校同窓会長	
委員	沢田 雅宏	岩手県立不来方高等学校同窓会長	
委員	浅沼 盛一	岩手県立盛岡南高等学校 PTA 会長	
委員	小岩 和人	岩手県立不来方高等学校 PTA 会長	
委員	川戸 英夫	岩手県立盛岡南高等学校副校長	
委員	村山 薫美	岩手県立盛岡南高等学校副校長	
委員	藤枝 修	岩手県立不来方高等学校副校長	
委員	菊池 由美子	岩手県立不来方高等学校副校長	

3 報告

(1) 盛岡地区新設高等学校校名（案）について

- ア 県教育委員会への報告について（P 4 参照）
- イ 校名（案）の決定について

(2) 統合課題検討小委員会

[第5回小委員会]

- 開催日時 令和4年12月13日（火） 14:00～15:30
- 開催場所 岩手県立不来方高等学校 第2会議室
- 出席者 7名
- 主な内容
 - ・ 協議
 - ア 学校制服の作成
 - イ 校歌、校章の決め方
 - ウ 校訓（案）検討のスケジュール
- その他
今後のスケジュール等について確認

[第6回小委員会]

- 開催日時 令和4年12月27日（火） 14:30～16:10
- 開催場所 岩手県立不来方高等学校 第2会議室
- 出席者 7名
- 主な内容
 - ・ 合同小委員会
 - ア 盛岡地区新設高等学校統合検討委員会のこれまでの取組の確認
 - イ 県外先進校視察報告
 - ・ 協議
 - ア 学校制服の作成
 - イ 校歌、校章の決め方
- その他
今後のスケジュール等について確認

(3) 教育内容検討小委員会

[第4回小委員会]

- 開催日時 令和4年12月27日(水) 14:30～16:35
- 開催場所 岩手県立不来方高等学校 第1会議室
- 出席者 19名
- 主な内容
 - ・ 合同小委員会
 - ア 盛岡地区新設高等学校統合検討委員会のこれまでの取組の確認
 - イ 県外先進校視察報告
 - ・ 協議
 - ア 学系名称(案)について
 - イ スクール・ポリシー(案)について
 - ウ 部活動について
- その他
今後のスケジュールについて確認

【県教育委員会への報告】

盛岡地区新設高等学校校名（案）候補について

盛岡地区新設高等学校は、特色ある学習活動等に取り組む大規模高等学校として、時代のニーズに対応するとともに地域と協働し、本県の未来の担い手として活躍する人材を輩出することが期待されている。こうした期待に応える学校を目指し、以下の4案を選定した。

推薦順位	校名（案）	名称理由
1	岩手県立 なんしやう 南昌みらい なんしやう (南昌未来) 高等学校	「南昌みらい（未来）」の「南昌」は、「南昌山」から採った。「南昌山」は新設校が所在する矢巾町にあり、盛岡南高校の校章にはそれをデザイン化したものが用いられるなど、地域に親しまれている。また、「みらい（未来）」には、次代を担う人材育成への願いを込めている。
2	岩手県立 もり おか 森が丘 高等学校	「不来方」「森ヶ岡」は「盛岡」の古称である。「森が丘」には、両校の伝統を継承するわかりやすい校名とすることで、年代を問わず広く地域の人々に親しまれ、地域とともに歩む学校となることへの期待を込めている。
3	岩手県立 しやうえい 翔永 高等学校	「翔永」の「翔」は、不来方高校の校歌の一節「飛翔の雄姿わが母校」・校訓「飛翔」から、「永」は盛岡南高校の校歌の一節「母校よ永久に栄あれ」から採り、両校の伝統の継承と次代を担う人材育成への期待を込めている。
4	岩手県立 とくだん 徳丹 高等学校	「徳丹」は、矢巾町にある国指定史跡「徳丹城跡」から採り、新設校が町の新しいシンボルとして文化を継承しつつ、地域とともに歩む学校となることへの期待を込めている。

〔参考〕 統合検討委員会における意見について

- 「南昌みらい」の「みらい」表記について、以下の二つの意見が出された。
 - ・「みらい」は漢字の「未来」の方がよい。漢字にすることによって、盛岡南高校の「南」と不来方高校の「来」、両方が新設校名に入ることになる。
 - ・「みらい」は提案通りひらがな表記の方がよい。中学生や小学生、地域の方々に親しんでもらいやすく、柔らかく印象がよい。
- 新設校は全国で活躍が期待される学校であることを考えると、岩手のどこにある学校なのかが分かる校名がよい。「南昌みらい」は「南昌山」に由来していてイメージしやすい。
- 「森が丘」について、以下の二つの意見が出された。
 - ・「森が丘」は標記も易しく、若い世代にアピールできると思われる。
 - ・「森が丘」は、響きが限りなく「盛岡」に近く、「盛岡第一高校」等の「盛岡」と混同しやすい。

4 協議

(1) 学系名称(案)について

次のように提案する。

文系・理系の探究的な学びを行う学系……………	文理学系
芸術の学びを行う学系……………	芸術学系
外国語を通じてグローバルな学びを行う学系……………	外国語学系
体育・スポーツの学びを行う学系……………	スポーツ科学学系

提案理由は以下の通りである。

文理学系：文系・理系という普通科としての学びの方向性がわかりやすい。

芸術学系：芸術に関する基礎力を育成することがわかりやすい。またこれまでの音大や美大への進学実績や、芸術活動を通じた地域社会への貢献を想起しやすい。

外国語学系：外国語を専門的な学びの窓口にしていることがわかりやすい。またこれまでの進路実績や各種コンテストでの入賞実績、国の内外での卒業生の活躍等を想起しやすい。

スポーツ科学学系：「体育」や「スポーツ」という用語は社会的、時代的背景によって概念が変化してきており、現在では武道や球技、遊技等も含めて、教育内容をより適切に表現しているのは「スポーツ」という用語である。また、「科学」を加えることで、社会、文化、歴史、生命など健康科学の理論や専門知識を身につけるといった学びの方向性がわかりやすい。

(2) スクール・ポリシー（案）について

学校教育目標と関連づけ、次のように提案する。

〈グラデュエーション・ポリシー〉

- ・ 共助協働の精神をもって自己の能力を伸長し、社会に貢献できる力を育成します。(○)
- ・ 特色ある学びを通して、一生涯にわたって学び続ける資質を育成します。(△)
- ・ 個性を尊重し、多様な価値観を受け入れる心豊かな精神を育成します。(□○)

〈カリキュラム・ポリシー〉

○○高等学校は、単位制や総合選択制を取り入れながら特色ある教育課程（カリキュラム）を実践する全日制の普通科高等学校です。

- ・ 各学系の専門性に応じた幅広い科目を設置し、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に向けた学びを行います。(△)
- ・ 主体的、対話的な学びを基盤とした探究活動を展開し、地域や大学、研究機関との連携学習を通して、学びの深化を図る取り組みを行います。(△○)
- ・ 教育課程全般を通して協働的な取り組みを行い、学びに向かう力や人間性を養います。(□○)

〈アドミッション・ポリシー〉

- ・ 中学校までの学びを基盤として、自身の目標の達成や課題の解決のために探究し続けようとする生徒。(△)
- ・ 基本的な生活習慣が確立しているとともに、ルールを尊重し他者と協働しながら学校生活の様々な場面で意欲的に活動しようとする生徒。(□○)
- ・ 多様な個性を尊重する思いやりの心を持ち、より良い社会を形成する人材になろうとする生徒。(○)

【参考1】学校教育目標

- 心身ともに健やかで、未知の状況に対応できるしなやかな人間性を育てる
- △ 深く主体的に学びに向かい、自己の未来を創造しようとする態度を育てる
- 多様な価値観を受け入れ、協働しながら社会の創り手となる資質を育てる

【参考2】スクール・ポリシー（三つの方針）について

- a グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）
「このような力を伸ばします」
- b カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）
「このような学びを行います」
- c アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）
「このような生徒を待っています」

(3) 部活動について

次のように提案する。

県内最大の学校規模を確保することによる学校活動や部活動の活性化を図り、両校が蓄積してきたこれまでの実績や伝統の継承と発展を期するため、令和7年4月の開校時には、原則として令和5年度両校に設置している部の活動を維持する。

ただし、部によっては、両校の令和5年度および6年度の活動状況や部員数等により、令和7年度入学生の部員募集を行わない可能性がある。

[部活動の検討に係る今後のスケジュール (予定)]

- ① 令和4年度 (検討主体は両校生徒指導課)
令和5年1月～……令和5年度・6年度の合同チーム編成の意向確認 (部ごと)
- ② 令和5年度 (検討主体は統合準備委員会)
※統合準備委員会 (両校職員で構成) は令和5年4月に発足予定
令和5年4月～……令和6年度入学生 (令和5年度中3生) の入部受け入れ部の検討
令和5年7月～……令和6年度入学生 (令和5年度中3生) への周知
令和5年9月～……令和7年度入学生 (令和5年度中2生) の入部受け入れ部の検討
部統廃合の観点の検討
- ③ 令和6年度 (検討主体は統合準備委員会)
令和6年5月～……令和7年度入学生 (令和6年度中3生) への周知

(4) 学校制服の作成について

次のように提案する。

令和7年度統合新設校開校に合わせ、新たに学校制服を作成する。

ア 経緯

(ア) 統合課題検討小委員会における協議

○ 1回目 第4回小委員会（令和4年9月28日（水））

第2回統合検討委員会での意見を踏まえ、学校制服アンケートの内容等について協議し、対象を盛岡市及び矢巾町の中学校（9校）の中学校1年生とその保護者とすることとした。また、実施については、第3回統合検討委員会後とすることを確認する。

○ 2回目 第5回小委員会（令和4年12月13日（火））

学校制服について、委員からは次のような意見があった。次回、アンケート結果を参考にして、委員会としての考えをまとめることを確認する。

- ・ 学校制服が学校の魅力の一つにもなることから、作成することでいいのではないか。
- ・ 学校制服は必要と考えるが、男女区別なく着用できるジェンダーレス制服も検討するべきではないか。
- ・ 家庭への経済的負担を考え、県内でも学校制服の見直しも進んでいる。作成する場合には、価格も考慮する必要がある。
- ・ 学校制服は作成せず、服装は自由にすることとも考えられるが、そうすることによる生徒間の様々なトラブルも心配される。
- ・ 学校制服を作らず服装を自由にすることにより、家庭への経済的な負担が大きくなることも考えられる。

○ 3回目 第6回小委員会（令和4年12月27日（火））

学校制服アンケートの結果を参考に、第5回小委員会での意見も踏まえ、学校制服に係る統合検討委員会への提案内容を決定する。

(イ) 学校制服に係るアンケート

○ 実施期間

令和4年12月1日（木）～12月16日（金）

○ 調査対象

・ 対象となる学校（9校）

盛岡南高等学校及び不来方高等学校への入学者が多い、盛岡市及び矢巾町の中学校

[盛岡市]：見前中学校、見前南中学校、仙北中学校、大宮中学校、河南中学校
乙部中学校、飯岡中学校

[矢巾町]：矢巾中学校、矢巾北中学校

- ・ 対象者（約 2,500 名）

上記（1）の中学校 1 年生及びその保護者

○ 調査方法

中学生については、アンケート用紙への記入、保護者については、可能な限り Forms による回答とする。

○ 調査結果

※ 回答率 生徒 84.5% 保護者 43.8%

「学校制服はあったほうが良いと思うか」という問いに対し、「あったほうがいい」

「どちらかと言えばあったほうがいい」が、生徒で 74%、保護者で 95%であった。

（単位 %）

選択肢	中学生	保護者
あったほうがいい	40	68
どちらかと言えば、あったほうがいい	34	27
どちらかと言えば、ないほうがいい	11	3
ないほうがいい	15	2

イ 学校制服作成に係るスケジュール（予定）

日程	項目
令和 5 年 2 月	第 4 回統合検討委員会において、学校制服について協議
令和 5 年 5 月	・学校制服作成に係る業者へのプレゼンテーション依頼 ・学校制服検討チーム（仮称）の立ち上げ（職員、保護者等 10 名程度）
令和 5 年 7 月	業者選定のためのプレゼンテーション
令和 5 年 8 月	業者決定
令和 6 年 6 月	新学校制服決定
令和 6 年 7 月	新学校制服の発表 （一日体験入学）
令和 7 年 3 月	学校制服の採寸・販売等
令和 7 年 4 月	入学式

(5) 校歌の決め方について

次のように提案する。

専門家等[※]に依頼する

※ 専門家等には、両校の芸術（音楽）に係る学系・部の指導教員および生徒を含みます。

[経緯]

○ 1回目 第5回小委員会（令和4年12月13日（火））

岩手県内のこれまでの統合校における決め方を参考に、以下の3案を示し協議する。

（案1）公募を行う

（案2）専門家等に依頼する

（案3）両校のいずれかの校歌（曲）を使い、詩を作り直す

委員からは、案1もしくは案2のいずれかとすることで、次回、委員会としての考えをまとめることを確認する。

○ 2回目 第6回小委員会（令和4年12月27日（火））

前回の案1、案2について協議する。委員会として、専門家等（専門家等に統合両校の芸術に関わる教員及び生徒を含む）に依頼することを検討委員会に提案することを決定する。

(6) 校章の決め方について

次のように提案する。

専門家等[※]に依頼する

※ 専門家等には、両校の芸術（美術）に係る学系・部の指導教員および生徒を含みます。

[経緯]

上記（5）同様

令和4年度の盛岡南高校及び不来方高校の部活動の現状

[運動スポーツ系活動]

	活動の内容	盛岡南	不来方	盛岡南	不来方	備考
		男子		女子		
1	陸上競技	○	○	○	○	
2	体操	○	—	○	—	
3	水泳	○	○	○	○	
4	バレーボール	○	○	○	○	
5	バスケットボール	○	○	○	○	
6	ハンドボール	○	○	○	○	
7	サッカー	○	○		○	
8	ラグビー	○	○	—	—	
9	テニス	○	○	○	○	
10	柔道	○	○	○	○	
11	剣道	○	—	○	—	
12	バドミントン	○	○	○	○	
13	ボクシング	○	—	○	—	
14	登山	○	—	○	—	※クライミングを含む
15	スキー	○	—	○	—	
16	硬式野球	○	○	—	—	
17	卓球	—	○	—	○	
18	ソフトテニス	—	○	—	○	
19	弓道	—	○	—	○	
20	ホッケー	—	○	—	○	
21	空手道	—	○	—	○	
22	カヌー	—	○	—	○	

[文化芸術系活動]

	活動の内容	盛岡南	不来方	盛岡南	不来方	備考
		男子		女子		
1	書道	○	○	○	○	南:芸術部書道班
2	写真	○	○	○	○	不:写真・書道部
3	美術	○	○	○	○	南:芸術部美術班（写真活動を含む）
4	茶道	○	○	○	○	南:芸術部茶道班
5	華道	—	○	—	○	不:茶道・華道部
6	放送	○	○	○	○	南:芸術部放送・演劇班
7	演劇	○	○	○	○	不:演劇・文学研究部
8	文学研究	—	○	—	○	※不:放送委員会がある
9	音楽	○	○	○	○	
10	吹奏楽	○	○	○	○	
11	軽音楽	○	○	○	○	
12	工芸	—	○	—	○	
13	外国語研究	—	○	—	○	

盛岡地区新設高等学校の制服アンケート（結果）

1 目的

令和7年4月に開校する盛岡地区新設高等学校の制服の在り方について、中学生及びその保護者の考えや意見を把握し、今後の検討の参考とする。

2 実施時期 令和4年12月1日（木）～12月16日（金）

3 調査対象

（1）対象となる学校

盛岡南高等学校及び不来方高等学校への入学者が多い、盛岡市及び矢巾町の中学校

○ 盛岡市：見前中学校、見前南中学校、仙北中学校、大宮中学校、河南中学校
乙部中学校、飯岡中学校

○ 矢巾町：矢巾中学校、矢巾北中学校

（2）対象者

上記（1）の中学校1年生及びその保護者（約2,500名）

4 調査方法

中学生については、アンケート用紙への記入、保護者については、可能な限り Forms による回答とする。

5 調査結果

（1）回答率

中学生 84.5% 保護者 43.8%

（2）質問への回答状況

ア 【質問1】学校制服はあったほうが良いと思いますか。（回答は一つ）（単位%）

選択肢	中学生	保護者
あったほうが良い	40	68
どちらかと言えば、あったほうが良い	34	27
どちらかと言えば、ないほうが良い	11	3
ないほうが良い	15	2

イ 【質問2】学校制服はあったほうが良いと思う理由は何ですか。（複数回答可）

（選択肢）

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 毎日の服装に悩まなくていい | 2 学生らしく見える |
| 3 どこかの学校か一目で分かる | 4 服装による個人差がでなくていい |
| 5 あまりお金がかからない（経済的） | 6 その他（具体的に書いてください） |

中学生・保護者とも、「学生らしく見える」や「毎日の服装に悩まなくていい」の回答が多かった。「その他」として、中学生は「制服のほうがいい、かわいいから」、「高

校生になった感じがする」、保護者からは「私服になることにより、規律や校則等が乱れる事に、多少なりともつながりそうだから」、「かわいい制服だとテンションがあがる」、「式などあらたまった行事では制服があったほうが良いと思う」といった意見が見られた。

ウ 【質問3】 学校制服に取り入れてほしいポイントは何ですか。(複数回答可)

(選択肢)

- 1 簡単に手入れができる、シワになりにくいなど (機能性)
- 2 軽量設計、ストレッチなど (着心地)
- 3 あまり高くないなど (経済性)
- 4 ファッション性
- 5 その他 (具体的に書いてください)

中学生・保護者とも「機能性」を求める回答が一番多かった。その次に多かった回答として、中学生が「ファッション性」を求めているのに対し、保護者からは「経済性」を求める回答が多かった。「その他」として、中学生・保護者とも「女子のスラックス導入」、「男女関係なくパンツかスカートを選択できるようにしてほしい」といった意見が多く見られた。

エ 【質問4】 自分が着るなら、学校制服はどんなスタイルが良いと思いますか。(回答は一つ)

(選択肢) ※ (1～3は男子制服、4～6は女子制服)

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| 1 スーツスタイル | 2 ブレザースタイル | 3 詰襟スタイル |
| 4 スーツスタイル | 5 ブレザースタイル | 6 セーラースタイル |

中学生・保護者とも「ブレザースタイル」(2と5)の回答が多かった。次に多かったのが、男子制服では中学生は「スーツスタイル」、保護者は「詰襟スタイル」、女子制服では中学生・保護者とも「セーラースタイル」であった。

オ 【質問5】 学校制服はないほうが良いと思う理由は何ですか。(複数回答可)

(選択肢)

- 1 好きな服装でいたい
- 2 動きにくい
- 3 個性がでない
- 4 値段が高く家庭に負担がかかる
- 5 その他 (具体的に書いてください)

中学生・保護者とも、「動きにくい」や「値段が高く家庭に負担がかかる」の回答が多かった。「その他」として、中学生からは「途中で運動着に着替えるくらいなら制服はな

くてもいい」「自由が制限される」、保護者からは、「私服のほうが毎日洗えて衛生的」「指定ジャージでいいと思う」といった意見が見られた。

一方、学校制服はないほうがいいと回答はしたものの、多様性を尊重する観点から、性別に関係なく選べるのであれば制服があっても構わないといった意見も見られた。